

漢字タイトルジェネレータ MTG-108



Mitaka 三ツ力通信株式会社

Mitaka Communication Systems Co., Ltd.

〒184-0003 東京都小金井市緑町 5-16-25

TEL:042-319-2815 FAX:042-319-2816

E-mail: info@mitaka-com.co.jp

URL: http://www.mitaka-com.co.jp

取扱説明書

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社 web (<http://www.mitaka-com.co.jp/>) をご覧ください。

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
本製品は安全に配慮して設計されています。しかし間違った使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大怪我などの人身事故につながる
ことがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

別紙の「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品全般の注意事項が記されています。

故障したら使わない

すぐに、弊社までご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



1. 電源を切る。
2. 電源コードや接続を抜く。
3. お買い上げ店または弊社に連絡する。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更になる場合があります。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。



同梱品の確認

パッケージには、以下の品物が入っております。梱包には万全を期しておりますが万一不足や破損がありましたら、お手数ですが弊社までご連絡下さい。代品をお送りいたします。

- ボリュームリモートコントロールユニット本体 :1 台(EIA マウント金具付属) ※ EIA マウント金具は梱包材の端に入っています。本体側のネジにて取付けて下さい。
- 取扱説明書兼保証書 :1 冊(本書)

※設定用ソフトは付属しておりません、弊社ホームページよりダウンロードして下さい。

漢字タイトルジェネレータでできること

映像 8ch
入出力

ビデオ信号8チャンネルに、それぞれテキストをインポーズすることができます。

白文字
縁取り

白文字をインポーズすることができます。また、文字の縁取りを設定することができます。

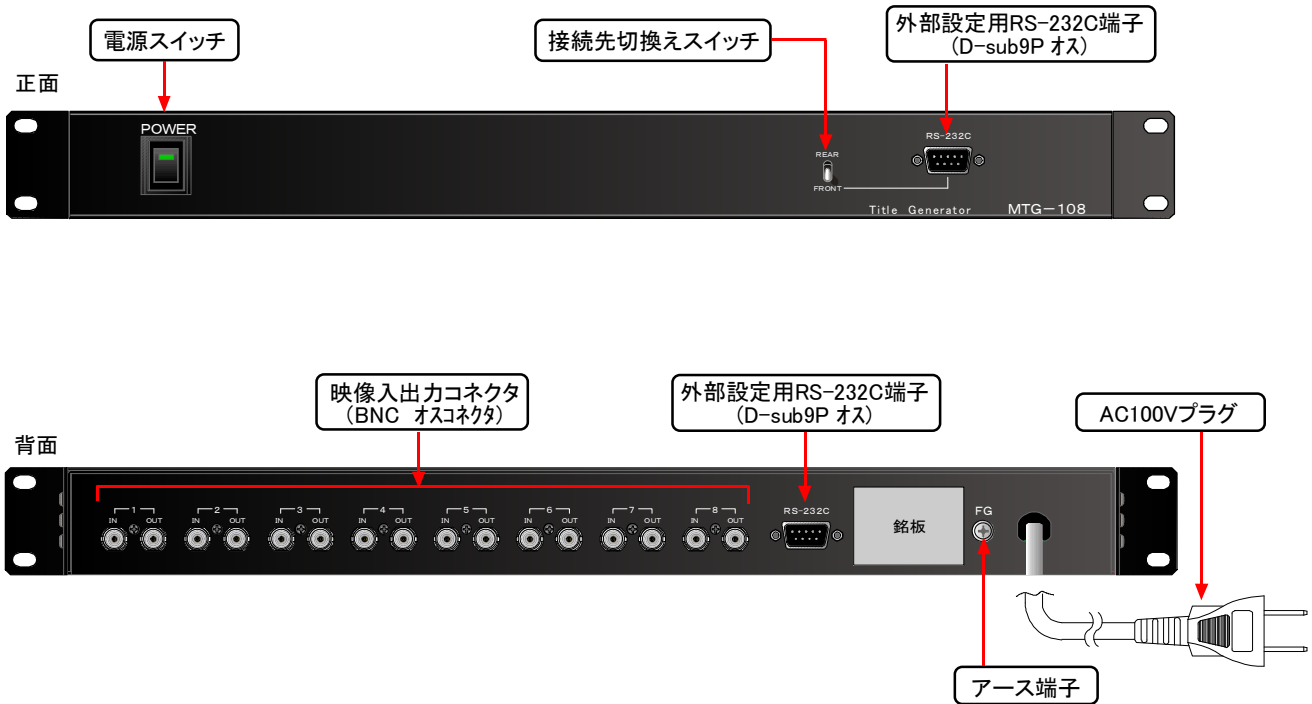
テキスト
転送

本体背面又は正面の RS-232C 端子を使いインポーズするテキストを転送することができます。
使用する端子は、正面パネルのスイッチにて切換えることができます。

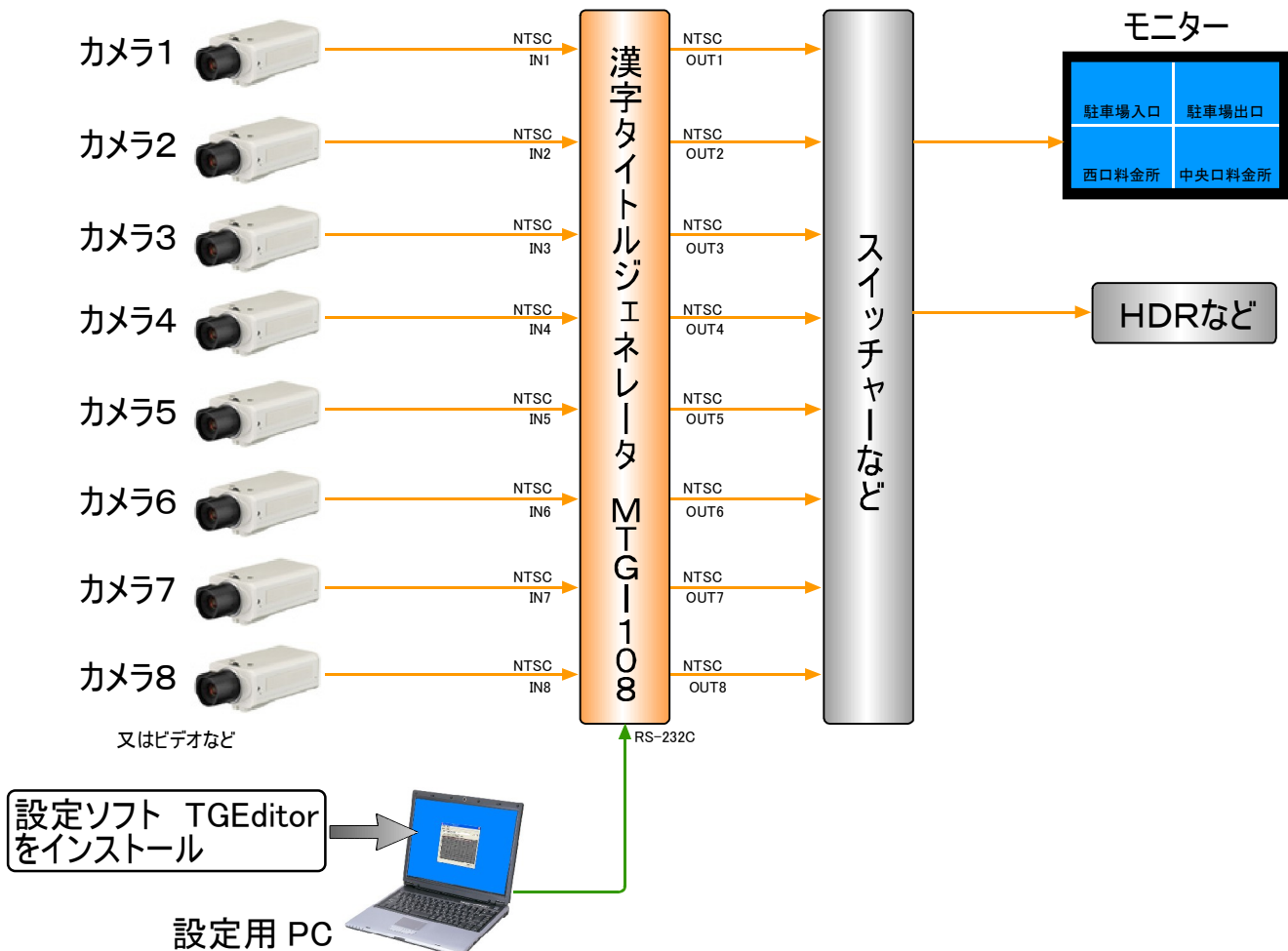
表示 / 非表示
切換

外部制御の RS-232C よりテキストの ON/OFF することができます。

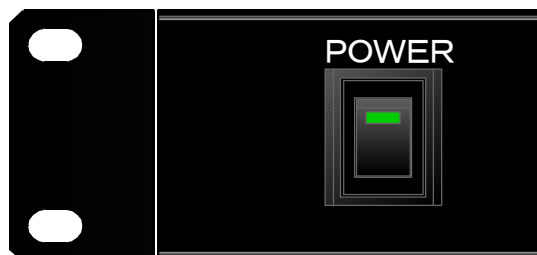
各部の名称



本器と外部機器の接続例

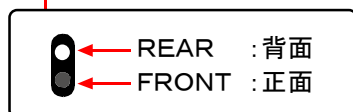
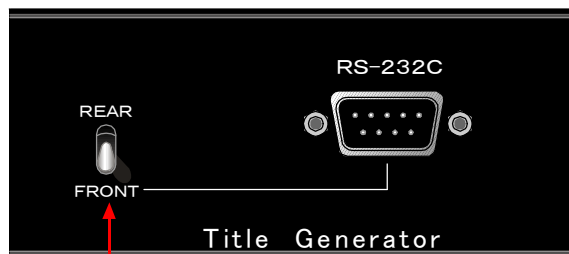


・別途ご準備願います。
 ・シリアルポート又はUSB-シリアル変換ケーブルが必要です。



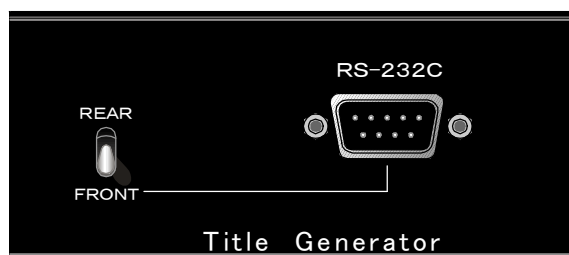
①電源スイッチ

AC100プラグを電源コンセントに差込みます。
本体正面の電源スイッチを“ON”にします。
スイッチのランプが緑に点灯します。



②接続先切換スイッチ

設定用 PC 又は制御機器を接続する RS-232C 端子を正面または背面に切り換える事ができます。

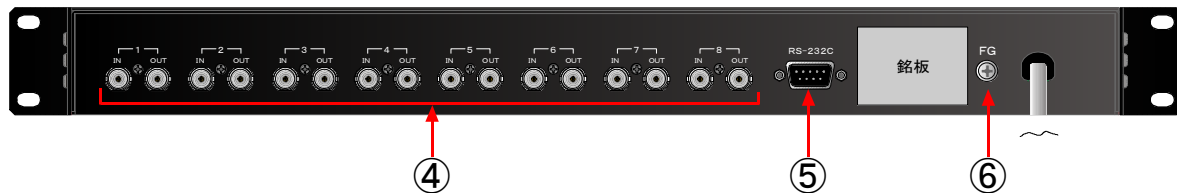


③外部設定用RS-232C端子

設定用パソコンを正面側に接続する場合、又は外部制御機器を接続する場合にお使い下さい。
RS-232C ケーブル(クロス)を接続します。
(別途ご用意ください)

使用ケーブル:

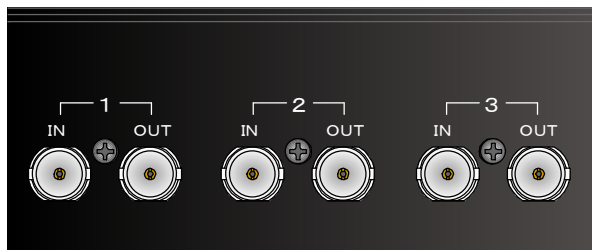
D-sub9 ピン メス(インチ) ⇄ D-sub9 ピン メス(インチ)
クロス(リバース)ケーブル



④ビデオ入出力端子

1～8 IN: 映像入力端子です。カメラ等からの NTSC ビデオ信号を接続して下さい。

1～8 OUT: 入力された映像に、設定された文字をインポーズした映像が出力されます。モニターやスイッチャーまたはレコーダーなどに接続して下さい。



⑤外部設定用RS-232C端子

設定用パソコンを正面側に接続する場合、又は外部制御機器を接続する場合にお使い下さい。
RS-232C ケーブル(クロス)を接続します。
(別途ご用意ください)

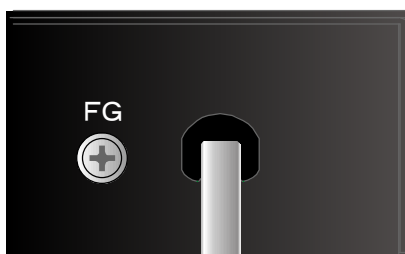
使用ケーブル:

D-sub9 ピン メス(インチ) ⇄ D-sub9 ピン メス(インチ)
クロス(リバース)ケーブル

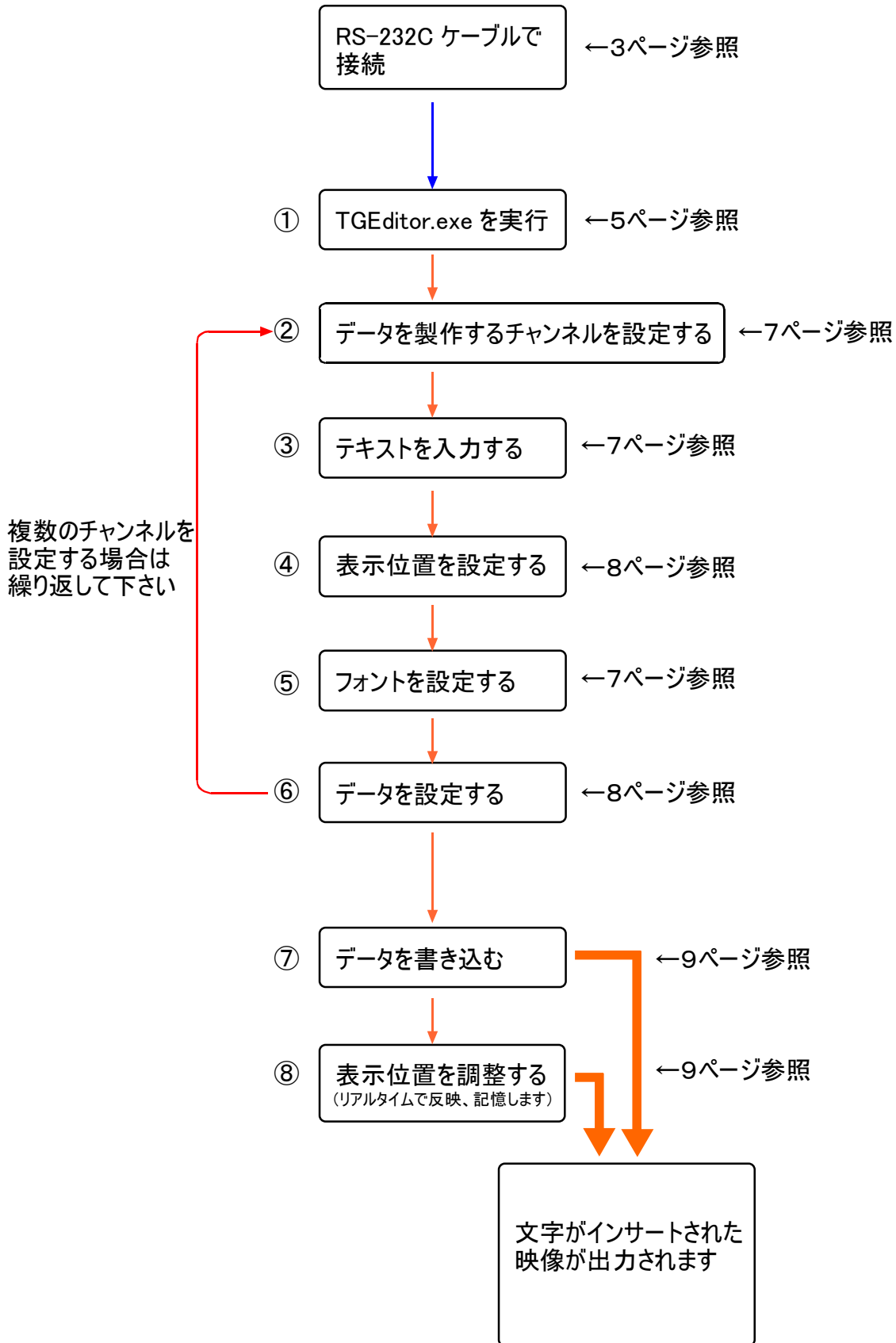


⑥アース端子

アースケーブルを接続します。



設定ソフト 操作の流れ



① 設定ソフト 8chTGEEditor のダウンロード

本製品には設定用ソフト(8ch TGEEditor)は付属しておりません。下記サイトより、データをダウンロードして下さい。ファイルサイズは約 1.4MB です。弊社ホームページにバナーがあります。

<http://www.mitaka-com.co.jp/seihin/8CH-TGEEditor.zip>

※インターネットに接続することが出来ない場合は、設定ソフトの CD を有償にて送付いたします。弊社までご連絡下さい。TEL:042-319-2815 (担当:スナミ宛)

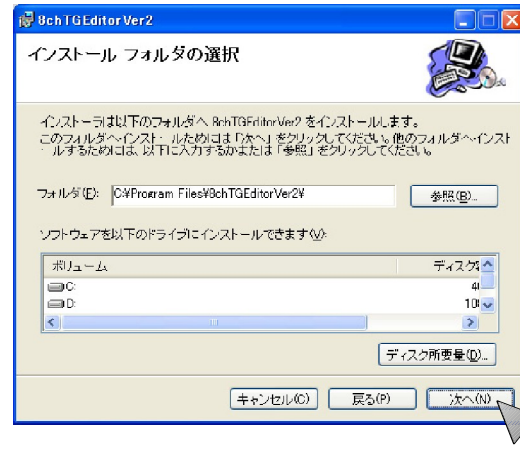
② 設定ソフト「TGEEditor」のインストール

ダウンロードしたファイルを解凍し、インストーラ「8ch-TGEEditorVer2.msi」ファイルを実行して下さい。インストール先のドライブを選択し、インストールを行ってください。インストールが完了しますと、デスクトップに TGEEditor.exe のショートカットが作成されます。TGEEditor.exe を実行しますと、設定ソフトが起動します。

・解凍したデータを実行



・インストール先を選択して「次へ」



・ショートカットができます



③ 設定ソフト「TGEEditor」のアンインストール(削除)

ダウンロードしたファイルを解凍し、インストーラ「8ch-TGEEditorVer2.msi」ファイルを実行して下さい。「8ch TGEEditor の削除」を選択し、完了ボタンをクリックして下さい。

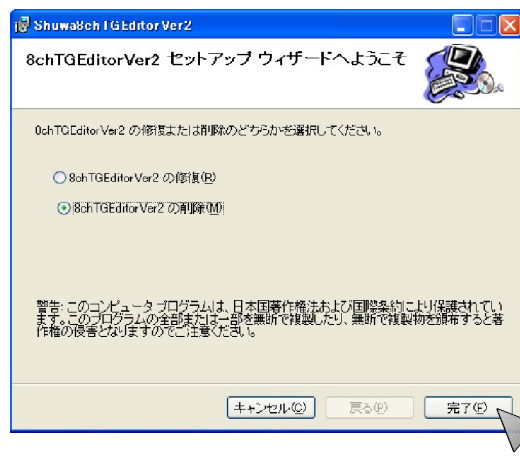
(また、ファイルをフォルダごと削除していただいても構いません。C:\Program Files\8CH-TGEEditor)

※コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」では削除できません。

・解凍したデータを実行



・8chTGEEditor の削除 を選択して「完了」



①設定ソフト 8chTGEEditor 画面各部の説明

・作成したデータの送受信ができます。
MTG-108と接続しているCOMポート(COM1~8)を選択し、作成したデータを本体に転送します。

・ビデオ画面に挿入するテキストを入力します。

・作成したテキストを設定したフォントでデータ作成します。

・下記ファイルの操作ができます。
保存したデータは *.stg ファイル形式になります。
(開く)
(保存)
(名前を付けて保存)
(終了)

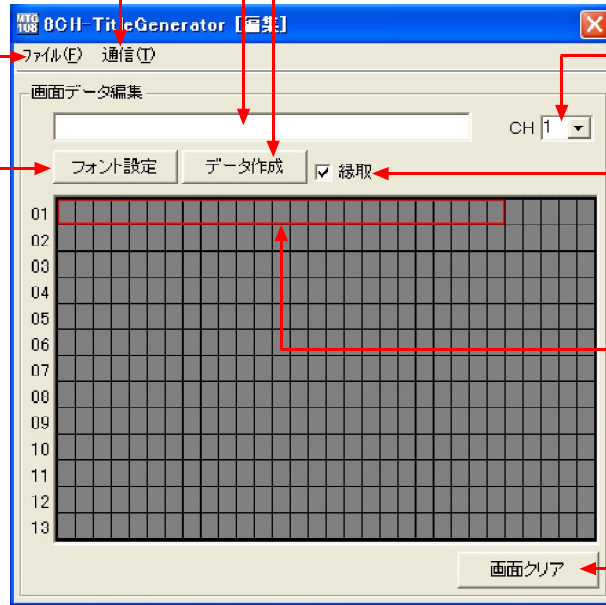
・ビデオ画面に挿入するチャンネルをCH1~CH8からプルダウンから選択してください。

・チェックを選択すると、テキストに黒い縁取りの処理を追加します。

・赤枠でテキストを挿入する画面の位置をプレビュー表示します。画面上的のクリックした任意の位置に変更することができます。

・プレビュー表示しているテキストを消去します。

・ビデオ画面に挿入する文字のフォントを設定するウインドが開きます。

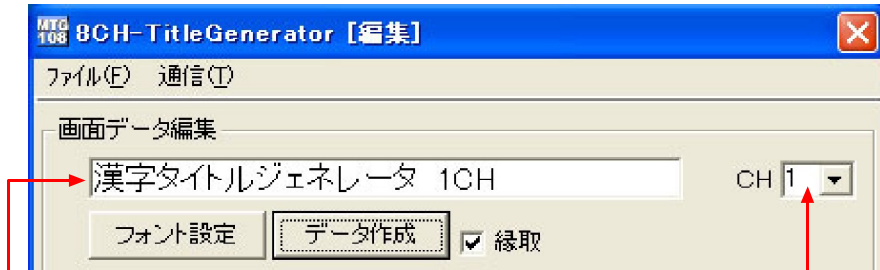


②設定ソフト 8chTGEEditor 操作手順

- ・本機のビデオ入力端子IN1に接続した映像信号に、タイトルを新規に設定する手順を説明致します。チャンネルを変えることで同様に他のチャンネルにも設定することができます。
(MTG-108 は設定するパソコンと RS232C ケーブルで接続しているものとします)

②-1 テキストの入力

設定を入力するチャンネルを、プルダウンメニューより選択します。テキストボックスに挿入するテキストを入力します。

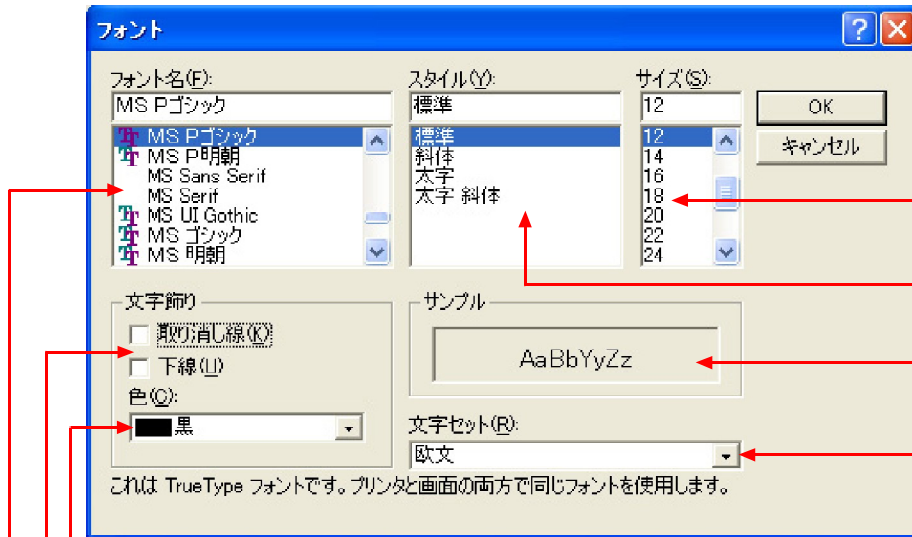


テキストボックスに、挿入するテキストを入力します。

設定するチャンネルを1～8より選択します。

②-1 フォントの選択

テキストのフォントを設定します。フォントの色は白のみ表示可能です。白以外を設定しても反映されません。フォントのサイズは 12～14 程度のサイズが最適です。それ以上に設定しますと、選択したフォントや漢字によって下側から切れて表示されます。



テキストのサイズを設定します。8～14 サイズに設定して下さい。14 以上のサイズでは漢字の下側が切れて表示されます。

テキストのスタイルを設定します。

設定をサンプル表示します。

文字セットを指定します。通常変更する必要はありません。

テキストの文字色は変更することが出来ません。(色を変更しても反映されません)

文字の飾りを設定します。文字に縁取りをしたい場合はテキスト入力画面の「縁取り」を設定して下さい。

テキストのフォントを設定します。使用できるフォントはパソコンにインストールされている TrueTypeFont を使用することができます。

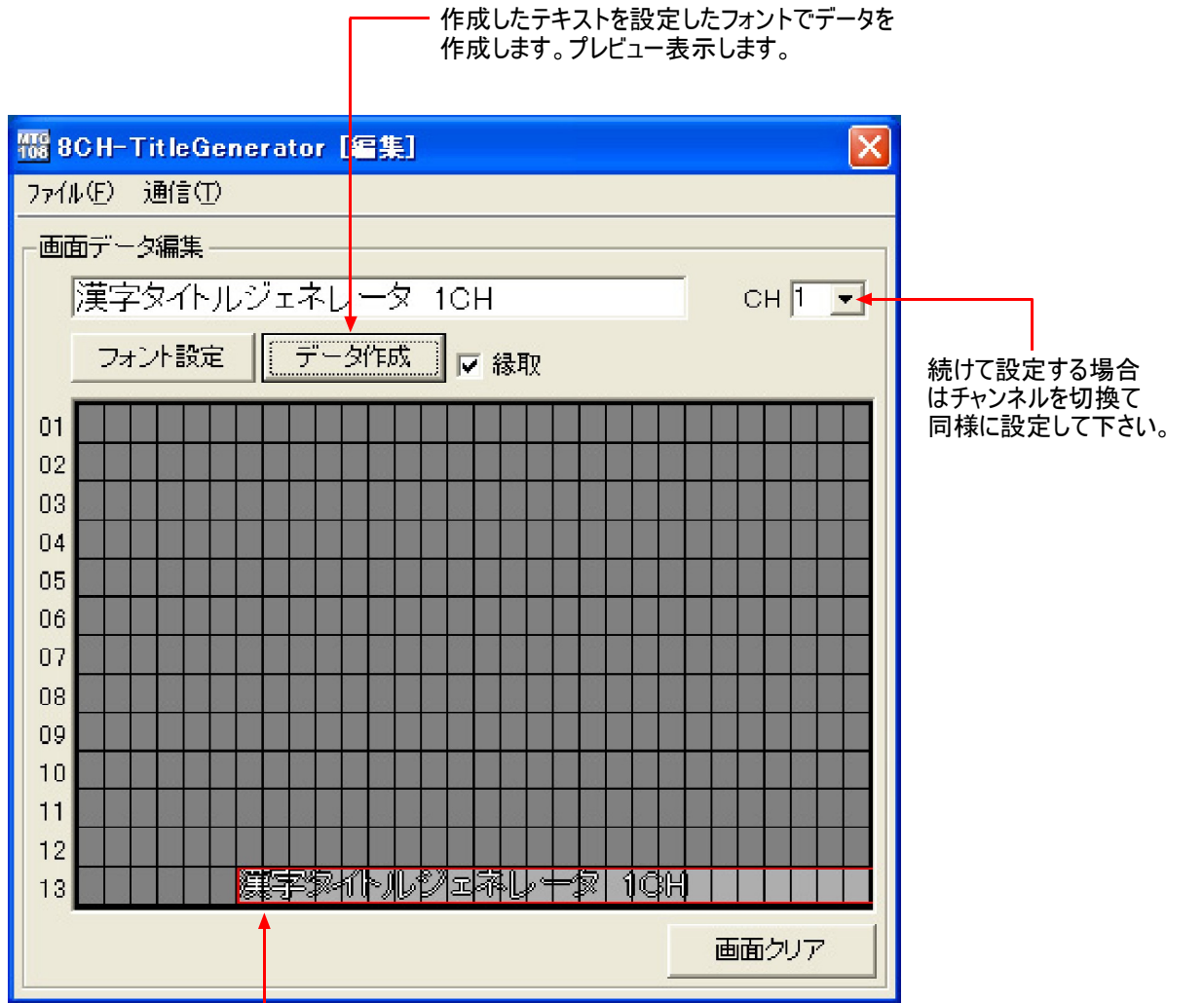


ご注意

テキストサイズを14以上に設定しますと、文字の下側が切れて表示されます。サイズを大きくするほど、切れて表示出来ない範囲が大きくなります。

②-3 データの作成

データ作成ボタンをクリックし、プレビュー表示を行います。表示位置の調整は、赤枠をドラックして任意の位置に移動し、再度データ作成ボタンを押すことで変更できます。各チャンネルのデータを作成しましたら、ファイル→保存よりデータを保存して下さい。



作成したテキストを設定したフォントでデータを
作成します。プレビュー表示します。

続けて設定する場合はチャンネルを切換て
同様に設定して下さい。

画面上をクリックし位置の変更

・赤枠でテキストを挿入する画面の位置をプレビュー表示します。画面上のクリックした任意の位置に変更することができます。位置を変更後、再度データ作成ボタンをクリックして下さい。

※文字の位置調整は、通信画面の表示位置調整でも細かく行うことができます。こちらでの位置調整は大まかなものでかまいません。



ご注意

テキスト入力後や位置変更等の調整を行った後には必ず「データ作成」ボタンを押して下さい。ボタンを押さないと、調整結果が反映されません

②-4 データ転送画面

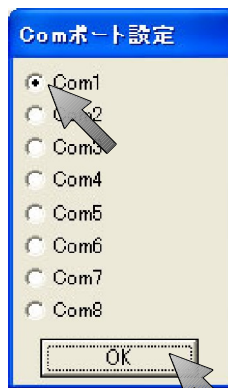
画面上部の「通信」から「データの送受信」を選択します。RS-232C ケーブルを接続している PC のCOMポートを指定し正常に通信ができると、データの通信設定画面が開きます。また、正しく通信ができない場合はエラーメッセージ表示が出ます。(ケーブルや接続しているポートを確認し、再度接続して下さい)

通信画面の「書込」を押しますと「書き込み設定」画面が開き、全チャンネルデータ送信又は指定チャンネルデータ送信を選択します。実行を押しますと、データが本体内のフラッシュ RAM に書き込まれ、ビデオ出力に反映されます。

※ MTG-108 本体側に書き込まれたデータは吸出すことができません。データの保存はPC側にて行って下さい。

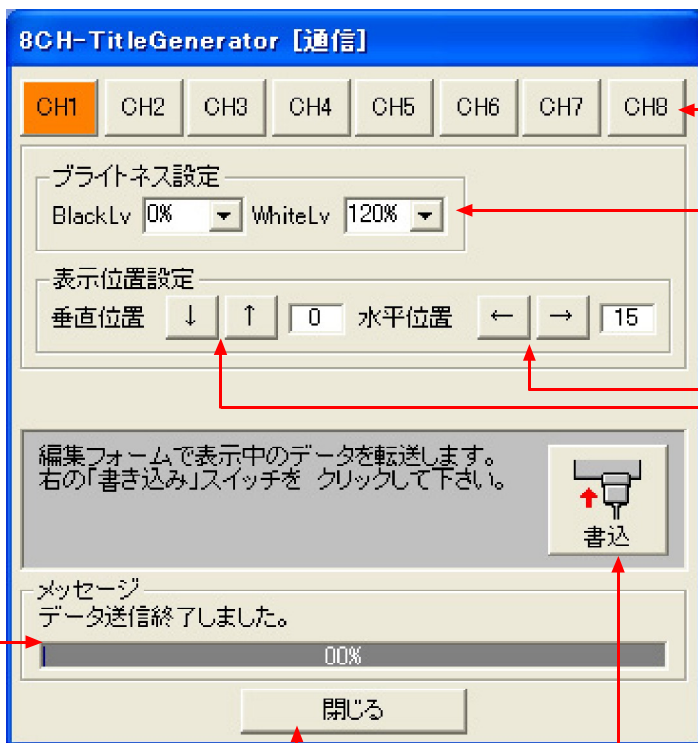


プルダウンより「データの送受信」を選択します



PC 側で RS-232C ケーブルを接続している COMポートを選択して下さい。

MTG-108 と正常に通信ができますと、通信画面が開きます



ブライツネス設定と表示位置設定を行うチャンネルを指定します。

Blak Lv: (デフォルト値 0%)
0~30%の4段階に変更することが出来ます。値を大きくすると、文字の縁取りが明るく変化します。変更は指定されたチャンネルがリアルタイムで反映され、記憶されます。

White Lv: (デフォルト値 100%)
120~80%の4段階に変更することが出来ます。値を小さくすると、文字の白が暗く変化します。変更は指定されたチャンネルがリアルタイムで反映され、記憶されます。

水平位置: (デフォルト値 0)
本体に転送された文字の表示位置を上下に +15~-15 の 30 段階で調節することが出来ます。変更は指定されたチャンネルがリアルタイムで反映され、記憶されます。

垂直位置: (デフォルト値 0)
本体に転送された文字の表示位置を左右に +30~-30 の 60 段階で調節することが出来ます。変更は指定されたチャンネルがリアルタイムで反映され、記憶されます。

この画面を閉じます。「書き込み設定」画面が開き、送信するデータを設定することが出来ます。実行を押しますと設定した条件でデータを送信します。



・全チャンネルデータ送信:
1~8CH まで全てのデータを転送します。
・指定チャンネルデータ送信:
1~8CH の指定したチャンネルのみデータを転送します。

データの送信状況を表示します。

③-1 終了方法

終了前に、編集画面の上部の「ファイル」から「保存」又は「名前をつけて保存」を選択し、ファイルを保存して下さい。
たとえ MTG-108 本体側にデータを転送しても、PC側に吸出す事はできません。ファイルは PC 側で保存して下さい。

- ・通信画面：画面下部の「閉じる」ボタンを押して下さい。
- ・編集画面：画面上部の「ファイル」から「終了」を選択するか、右側の「閉じる」ボタンを押して下さい。

プルダウンより「終了」を選択、又は
閉じるボタンを押します。



閉じるボタンを押します。

③-2 ケーブルを外す

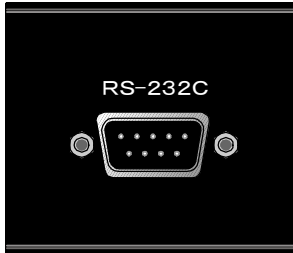
接続したRS-232Cケーブルは、データ通信時以外必要ありませんので、外して下さい。

①RS-232Cによる外部制御

・外部制御のRS-232Cより、表示するテキストをON/OFFすることができます。

①-1 制御ケーブルの接続

RS-232Cケーブル(クロス)を本体正面又は背面のRS-232C端子に接続して下さい。
接続後、正面の接続先切換スイッチを接続した端子に合わせて下さい。



使用ケーブル:

D-sub9 ピン メス(インチ) ⇄ D-sub9 ピン メス(インチ)
クロス(リバース)ケーブル

③-2 制御コマンド

通信方式 RS-232C(PCとクロスケーブルで接続)

ビットレート : 9600

データビット : 8

パリティ : なし

ストップビット : 1

フロー制御 : なし

コマンド=2文字(ASCIIコード)

<各チャンネルの表示をON/OFFする手順>

1. ON/OFFしたいチャンネルを指定する(コマンド=CS)

////////////////////////////////////

チャンネル選択コマンド(ChannelSelect)

"CS" + VAL + CR 'CH 切替コマンド

VAL = "1" ~ "8"(ASCIIデータ)

応答:ACK or NAK

2. 画面表示コマンドでON/OFF制御する(コマンド=OS)

////////////////////////////////////

画面表示コマンド(OnScreenSet)

"OS" + VAL + CR '画面 ON

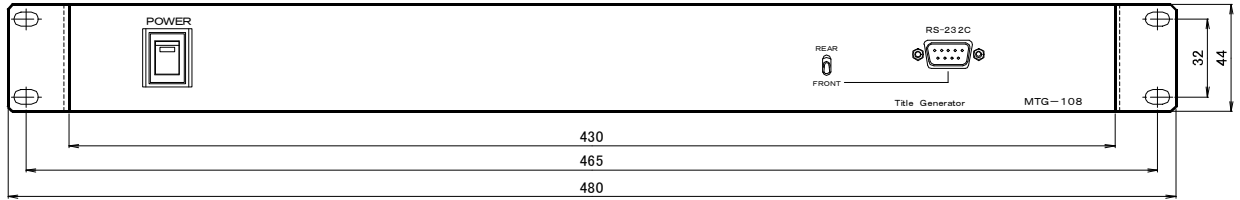
VAL = "0" ~ "1"(ASCIIデータ)

*"0" = 画面表示 OFF, "1" = 画面表示 ON

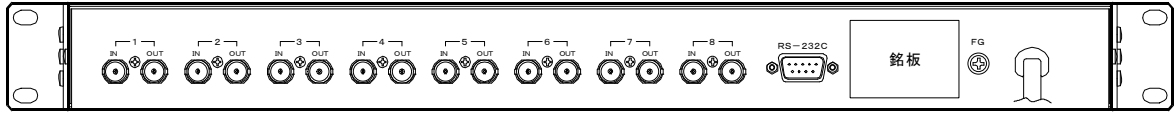
応答:ACK or NAK

※弊社ではRS-232Cについての質問は一切受け付けておりません。

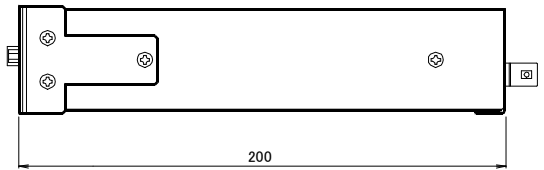
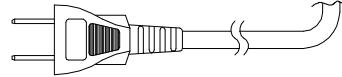
漢字タイトルジェネレータ MTG-108 仕様書



正面図



背面図



側面図

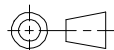
MTG-108 本体仕様	
入力部	8系統 NTSCアナログコンポジット: 1.0V(p-p) BNCコネクタ
出力部	8系統 NTSCアナログコンポジット: 1.0V(p-p) BNCコネクタ
インターフェース	1系統 RS-232C D-Sub 9ピン(オス) インチ 前面及び背面切換
電源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	6W
主材質	冷間圧延鋼 t1.0~2.0
処理	メラミン焼付塗装
塗装色	マンセルN1.0 近似値
RoHS	対応
質量	約3.5kg
外形寸法	W480×H44×D200(突起含まず)
付属品	EIA1Uラックマウント金具、取扱説明書兼保証書(1部)

専用設定ソフトウェア仕様	
動作環境	Windows2000、WindowsXP (COMポート使用)
設定項目	テキスト編集、縁取り、フォント選択、スタイル選択 サイズ選択、文字飾り選択、 ブライネス設定(ホワイトレベル:4段階、ブラックレベル:4段階) 表示位置設定(垂直:+16~-15、水平:左32~右32)
表示テキストカラー	白文字(又は黒縁取り白文字)
表示行数	1行
表示テキストサイズ	8サイズ~14サイズ
表示テキスト数	14サイズ:約15文字、12サイズ:約20文字、10サイズ:約25文字 (使用するフォントにより、表示数は異なります)
配布	弊社ホームページより無償ダウンロード(ZIP圧縮、インストラ付)

 **ミタカ通信株式会社**
Mitaka Communication Systems Co., Ltd.
www.mitaka-com.co.jp

尺度
SCALE
単位
UNITS

mm



名称

漢字タイトルジェネレータ
MTG-108

保証書



保証期間：お買上げ日より1年間

品名：漢字タイトルジェネレータ	
型名：MTG-108	
お客様	〒
ご住所	
TEL	() -
お名前	様

販売店名
TEL

このたびはミタカ通信製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。正常な使用状態で保証期間中に故障が発生した場合には本書またはお買上げ時の伝票を同封し、販売店または弊社までご依頼下さい。



管理 No: